

平成16年度（2004年度）日本留学試験

総合科目

（ 8 0 分）

I 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見ないでください。
2. この問題用紙は、16ページあります。
3. 解答は、解答用紙に鉛筆（HB）で記入してください。
4. 問題用紙の余白は、メモに使ってもいいです。
5. 監督者の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
6. 試験が終わっても、この問題用紙を持ち帰ることはできません。
7. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じように記入してください。

II 解答上の注意

1. 各問題には、その解答を記入する行番号 1 , 2 , 3 , ...がついています。解答は問題の文の指示にしたがって、解答用紙（マークシート）の対応する解答欄にマークしてください。
2. 解答用紙に書いてある注意事項も必ず読んでください。

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------|--|--|---|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|
| 受験番号 | | | * | | | | | * | | | | | | |
| 名前 | | | | | | | | | | | | | | |

問1 茶に関する次の会話を読み、下の問い(1)～(4)に答えなさい。

太 郎：よく来たね。お茶をいれたよ。

よし子：おいしい。気分が落ち着くわ。私は静岡県出身だけど、静岡は日本で一番の
緑茶の生産地なのよ。

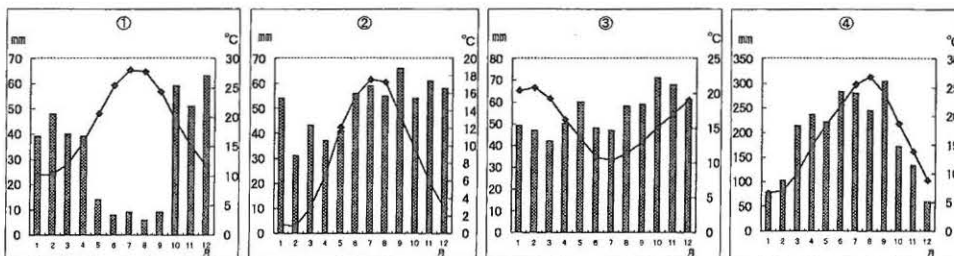
太 郎：お茶は、もともと亜熱帯原産の植物なので、1 気候が温暖で雨の多い地帯が
最も生育に適しているんだ。静岡のお茶の生産は伝統があるよね。

よし子：緑茶は、幕末 (end of Edo period) から明治 (Meiji period) にかけて、
2 日本の有数の輸出品だったのよ。3 現在、日本の食料自給率は先進国の中
でもかなり低いけれど、緑茶の自給率は80%以上なのよ。

太 郎：ふーん、4 緑茶は日本文化にとって大切なものだから自給率が高いことはいいことだね。

(1) 下線部1について、静岡県の雨温図はどれか。正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

1



総合科目ー2

- (2) 下線部 2 にあるように、日本はかつて、アメリカ (USA) にも茶を輸出していた。
当時のアメリカの茶の輸入に関する次の表を参考にし、アメリカでの茶の動向として
最も適当な記述を、下の①～④の中から一つ選びなさい。

2

アメリカ合衆国による緑茶、紅茶の輸入高

単位：重量ポンド

| 年 | 日本緑茶 | 中国緑茶 | 中国・インド紅茶 | 合計 |
|---------|------------|------------|------------|------------|
| 1860-61 | 251,100 | 8,687,400 | 19,485,000 | 28,417,500 |
| 1865-66 | 7,592,300 | 12,774,200 | 11,581,400 | 31,947,900 |
| 1870-71 | 12,384,100 | 17,898,400 | 16,294,700 | 46,577,200 |
| 1875-76 | 26,282,956 | 17,076,417 | 13,039,901 | 56,399,274 |

出典：高橋新吉領事よりの報告『通商彙編』明治15年より作成

注) 中国 (China), インド (India)

- ① 緑茶も紅茶もあまり飲まれなかった。
- ② 全体として緑茶の方が紅茶よりも人気があった。
- ③ アメリカでは緑茶を飲む習慣はほとんどなかった。
- ④ 中国緑茶の輸入量は急激に減少した。

- (3) 下線部 3 について、総供給量 (摂取するカロリーの総量) で換算した場合、日本の
食料自給率は、1936年には78%であったが、2001年には40%まで低下した。この大幅
低下の原因の一つとして考えられるものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

3

- ① 人口が2倍以上になったが、農産物の生産高が変わらなかったため。
- ② 急激な気候変化によって、農業が大きな打撃を受けたため。
- ③ 主食としてあまり米を食べなくなったため。
- ④ 農産物にかかる関税を全て撤廃したため。

- (4) 下線部 4 について、日本では茶をとりまく文化が、諸外国ではあまり見られないかたちで古くから発展した。いわゆる「茶道」である。茶道の特徴を説明するものとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

4

- ① 敵対者への闘争心を高揚する武士道文化
- ② 他者をもてなす作法を芸術的に高める生活文化
- ③ 自然環境への知的探究心を養う科学的文化
- ④ 神や仏への礼拝の儀式を洗練する宗教文化

問 2 次の文章を読み、下の問い(1)～(4)に答えなさい。

日本の製造業は、¹貿易摩擦の回避、円高による国際競争力低下への対策、a 加盟国拡大にともなう市場参入コストの低下などを背景に、海外への進出を進めてきた。その結果、特に²自動車産業において、海外現地法人(子会社)からの特許等使用料の受け取りが増加した。それらを受けて国際収支統計における日本の「特許等使用料」の収支は、b 年に初めて黒字になった。

- (1) 下線部 1 貿易摩擦は、特に1980年代に日本とアメリカとの間で大きな政治争点となった。具体的には、どのような状況を背景にしていたか。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

5

- ① 日本がアメリカに対して大幅な輸出超過であった。
- ② 日本がアメリカに対して大幅な輸入超過であった。
- ③ 日本企業がアメリカの企業や不動産を非常に多く購入した。
- ④ アメリカ企業が日本の企業や不動産を非常に多く購入した。

- (2) 空欄 a に当てはまる国際機構の略称として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

6

- ① UNESCO ② ILO ③ WTO ④ WIPO

総合科目－4

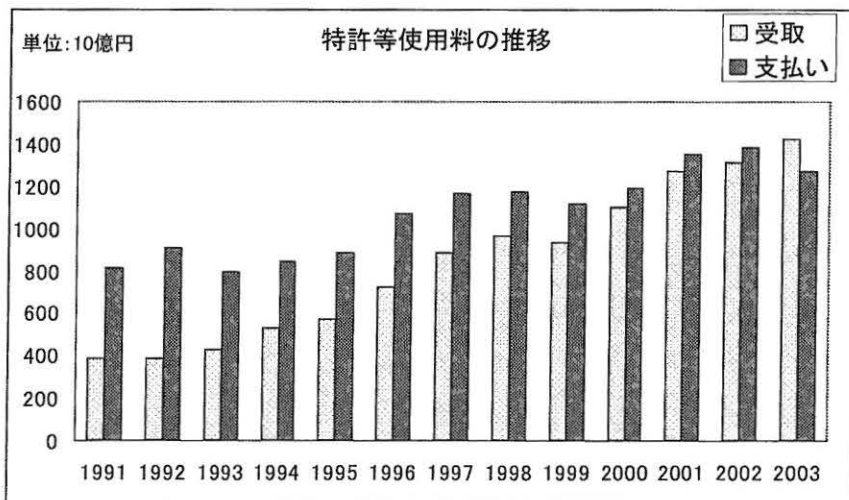
- (3) 下線部 2 について、これまで日本の自動車産業の発達を支えてきた傾向の説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

7

- ① 研究開発から、生産、販売までのすべての過程を、自社の企業グループで一貫しておこなう傾向
- ② 様々な他の企業がおこなった研究開発の成果の使用権を購入し、生産や販売のみを効率よくおこなう傾向
- ③ 研究開発に集中し、その成果の使用権を様々な他の企業に売却し、生産や販売には関わらない傾向
- ④ 研究開発、生産、販売のうち、最も得意ないずれかの分野を選択し、そこに資源を集中する傾向

- (4) 次のグラフを見て、空欄 **b** に当てはまる年を、下の①～④の中から一つ選びなさい。

8



出典：日本銀行『国際収支統計』などより作成

- ① 1991
- ② 1995
- ③ 1999
- ④ 2003

問3 果物の価格の変化に関する次の文章について、下の問い(1)、(2)に答えなさい。

みかんとりんごの市場価格について、りんご1個とみかん5個の価格が等しかった。その後、りんごの価格が下がり、りんご1個とみかん3個の価格が等しくなった。

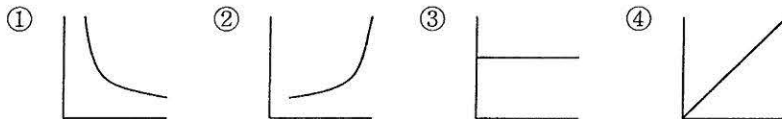
(1) この場合、どのような現象が起きるか。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

9

- ① りんごの消費量が減少し、みかんの消費量が増加する。
- ② みかんの消費量が減少し、りんごの消費量が増加する。
- ③ みかんもりんごも等量に消費量が減少する。
- ④ みかんもりんごも等量に消費量が増加する。

(2) 縦軸を価格、横軸を数量とすると、りんごの需要曲線はこの場合どのような形になるか。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

10



問4 国民所得Yは、消費C、投資I、政府支出G、税収T、輸出X、輸入Mによって

$$Y = C + I + G - T + X - M$$

と表され、貯蓄Sは、国民所得Yと消費Cの差で表される。

投資Iは30、政府支出Gは50、税収Tは25、輸出Xは50、輸入Mは30とした場合、貯蓄Sの値を、次の①～④の中から一つ選びなさい。

11

- ① 25 ② 50 ③ 75 ④ 185

総合科目一6

問5 ある期間において名目利子率が下がり、実質利子率が上がる場合、どのような現象が背景にあるか。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 12

- ① 政府の緊縮的な金融政策 ② デフレーションの進行
③ 株式相場の大幅高 ④ インフレーションへの期待感

問6 景気の過熱を抑制する手段として、公定歩合の引き上げがある。この影響として正しくないものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 13

- ① 借り入れ金利が上昇するので、企業の設備投資が減少する。
② 株式に向けられていた資金が吸い上げられるため、株価が下落する。
③ 家計はより多くの資金を貯蓄にまわすため、流通する資金が減少する。
④ 市場に流通する通貨量が減少するので、物価が上昇する。

問7 金融に関する次の文章を読み、空欄 [a] ～ [c] に適する語の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 14

金融とは、資金の貸し手と借り手との間で、資金の融通をおこなうことであり、その場を金融市場という。金融には、貸し手が借り手に直接資金を融通する直接金融と両者の間に [a] が介在する間接金融とがある。日本の金融は、[b] 金融よりも [c] 金融が中心であったが、近年、金融制度改革を進める中で [b] 金融の比率が高まっている。

| | a | b | c |
|---|------|----|----|
| ① | 金融機関 | 直接 | 間接 |
| ② | 金融機関 | 間接 | 直接 |
| ③ | 中央銀行 | 直接 | 間接 |
| ④ | 中央銀行 | 間接 | 直接 |

問 8 労働生産性は、一般に投入労働量あたりの生産額（付加価値額）で計測される。この関係から、労働生産性を高めるために必要なこととして最も適切なことを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

15

- ① 投入労働量を増やす。 ② 投入労働量と生産額を同じ割合で増やす。
 ③ 生産額を減らす。 ④ 投入労働量以上に生産額を増やす。

問 9 商品の価格設定と売上損益の間に次に示す関係がある場合、その結果に関する記述として最も適切なものを、表の下の①～④の中から一つ選びなさい。

16

ある商品の市場において、X、Yという2人の売り手がいる。2人は、相手の価格設定について情報を持っていない。その商品には700円と500円という2種類の価格をつける選択肢があり、X、Yの生産コストを同じとする。価格設定と売上損益の間には次の1～3に示す関係があり、それらは下の表のようにまとめられる。

- 1 両者とも価格を700円に設定した場合、3億円ずつの利益を得る。
- 2 1人が500円に、もう1人が700円に設定した場合、500円に設定した方は、多くの利益（4億円）を得ることができるが、700円に設定した方は、商品が売れず1億円の損失を受ける。
- 3 両者とも価格を500円に設定した場合、1億円ずつの利益を得る。

(X, Y) の損益

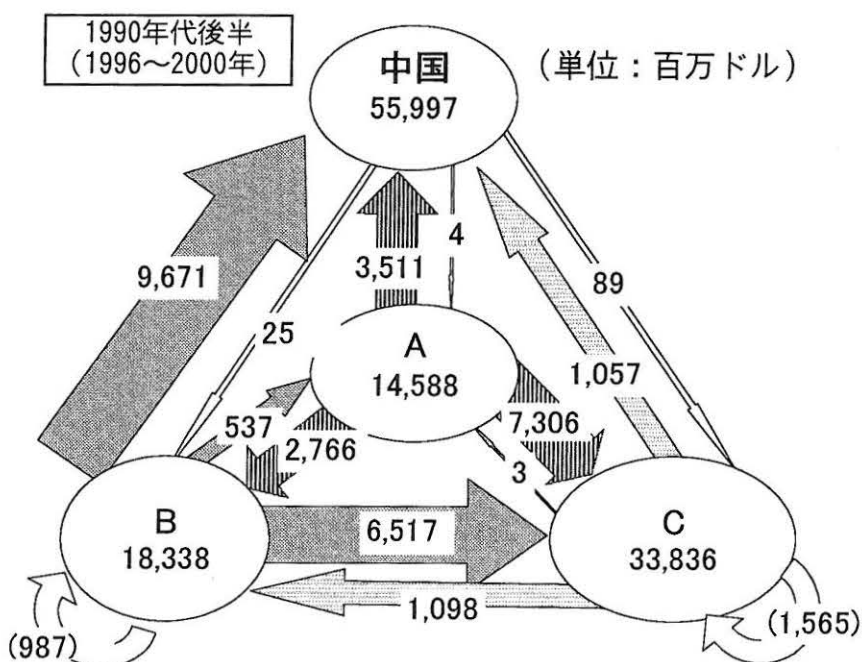
| X \ Y | 700円 | 500円 |
|-------|-----------|-----------|
| 700円 | 3億円, 3億円 | -1億円, 4億円 |
| 500円 | 4億円, -1億円 | 1億円, 1億円 |

- ① Xが700円、Yが500円の値を付けた場合、Xの利益は最大になる。
 ② Xが500円、Yが700円の値を付けた場合、Xの損失は最大になる。
 ③ 両者とも700円の値を付けた場合、両者ともに利益が最大になる。
 ④ 500円の値を付けた者は間違いなく利益を得る。

問10 変動相場制のもとでは、A国の貿易収支が黒字になると、為替相場がA国通貨高に動くことにより、貿易黒字が減少するはずである。しかし現実にはしばしばそうならない。これについて最も適当な説明を、次の①～④の中から一つ選びなさい。 **17**

- ① 輸入品価格が高騰することで、輸入が減少し、貿易収支が改善されないため。
- ② 為替相場が変化しても、数量調整には時間がかかるため、A国の貿易収支がさらに黒字になってしまうため。
- ③ 為替相場を決定するのは、貿易収支ではなく、主に経常移転収支によっているため。
- ④ A国通貨高によりA国通貨の有用性が増すことで、より貿易収支が黒字になってしまうため。

問11 次の図は、日本や東アジアにおける直接投資の関係を表したものである。空欄A～Cは、日本、NIEs, ASEAN4（マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア）のいずれかを表している。A～Cに適する組み合わせを、表の①～④の中から一つ選びなさい。 **18**



出典：経済産業省『通商白書2003』より作成

| | A | B | C |
|---|--------|--------|--------|
| ① | NIEs | 日本 | ASEAN4 |
| ② | ASEAN4 | 日本 | NIEs |
| ③ | 日本 | NIEs | ASEAN4 |
| ④ | 日本 | ASEAN4 | NIEs |

注) マレーシア (Malaysia), タイ (Thailand), フィリピン (the Philippines), インドネシア (Indonesia)

問12 年金制度は、積立方式と賦課方式に二分することができる。積立方式とは、ある者が在職時に保険料を積み立て、老後に利子とともに受けとる制度である。一方、賦課方式は、年金の支払いに必要な財源を現在働いている世代が支払う保険料でまかなう制度である。

それぞれの方式の長所として最も適当な組み合わせを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

19

| | 積立方式 | 賦課方式 |
|---|-----------------|-----------------|
| ① | 人口構成の変化に対応可能 | インフレなど不確実性に対応可能 |
| ② | インフレなど不確実性に対応可能 | 人口構成の変化に対応可能 |
| ③ | 平均寿命の上昇に対応可能 | 給付と負担の均衡の確保が可能 |
| ④ | 給付と負担の均衡の確保が可能 | 平均寿命の上昇に対応可能 |

問13 次の項目A～Dは、世界貿易の拡大に貢献してきたWTOまたはGATTに関するものである。年代順に並べたものとして正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

20

- A WTOの発足 B GATTの発足
C ウルグアイラウンド D プレトンウッズ会議

- ① B→C→A→D ② D→B→C→A
③ D→A→C→B ④ C→B→D→A

問14 日本国内における貨物輸送手段は、戦後、鉄道に代わってトラックの割合が大きく伸びた。こうした変化の理由として正しくないものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

21

- ① 荷物積み替えのために時間や手間のかかる鉄道と比べて、トラック輸送は戸口から戸口へというきめの細かいサービスができるから。
- ② 日本の産業構造の重点が、トラックでも簡単に運べる半導体などの小型軽量製品の製造へと変化したから。
- ③ 自動車の技術進歩と高速道路網の拡充により、トラックによる輸送時間とコストが削減されたから。
- ④ 政府が自動車産業を育成するため、鉄道輸送よりトラック輸送を優遇する政策を展開してきたから。

問15 次の文A～Cはアフリカ（Africa）の国の特徴を示したものである。それぞれの国について述べた文であるか。正しい組み合わせを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

22

- A この国はアフリカ最大の人口を持つ産油国であって、OPEC加盟国である。
- B アフリカ最大の国民総生産額を持つ。鉱業や農業も盛んであるが、製造業はアフリカで一番進んでいる。
- C 高原の農業国で、茶・コーヒーの輸出量が多いが、観光による外貨獲得も財政にとって重要である。

| | A | B | C |
|---|--------|-------|-----|
| ① | ナイジェリア | セネガル | ケニア |
| ② | タンザニア | 南アフリカ | ガーナ |
| ③ | ナイジェリア | 南アフリカ | ケニア |
| ④ | タンザニア | セネガル | ガーナ |

注) ナイジェリア(Nigeria), セネガル(Senegal), ケニア(Kenya), タンザニア(Tanzania), 南アフリカ(South Africa), ガーナ(Ghana)

問16 次のA～Dはラテン・アメリカ（Latin America）の国に関する記述である。A～Dに該当する組み合わせとして正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

23

- A NAFTAの加盟国
- B ラテン・アメリカ随一の鉄鋼産出国
- C ラテン・アメリカ最大の産油国
- D 軍隊を放棄した非武装中立国

| | A | B | C | D |
|---|-------|-------|-------|-------|
| ① | メキシコ | ブラジル | ベネズエラ | コスタリカ |
| ② | ブラジル | コスタリカ | メキシコ | ベネズエラ |
| ③ | メキシコ | ベネズエラ | ブラジル | コスタリカ |
| ④ | コスタリカ | メキシコ | ベネズエラ | ブラジル |

注) メキシコ (Mexico), ブラジル (Brazil), ベネズエラ (Venezuela), コスタリカ (Costa Rica)

問17 「社会は個々人の合理的な選択の結果として作られた」とする社会契約論を批判した者にエドモンド・バーク (Edmund Burke) がいる。彼はどのような人間観に基づいて社会契約論を批判したのか。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

24

- ① 人間は特定の伝統や社会的関係性の中でのみ育つ存在である。
- ② 人間は自己の快楽を求め、苦痛を避ける傾向を持つ存在である。
- ③ 人間は誰でも生まれながらに個人として不可侵の尊厳をもつ存在である。
- ④ 人間は理性によって自己を道徳的に律することのできる存在である。

問18 新しい人権として、環境権，知る権利，プライバシー権などが主張されている。プライバシー権とは私生活を干渉から守る権利のことである。プライバシー権の例として最も適当なものを，次の①～④の中から一つ選びなさい。

25

- ① 令状によらなければ身柄を拘束されない。
- ② 国家機関に行政文書の公開を求める。
- ③ 企業に個人情報を流出しないように求める。
- ④ 好きな職業を選択し，それを自由に営む。

問19 次の条文は，日本国憲法第21条の表現の自由に関するものである。[a] に当てはまる語の説明として正しいものを，下の①～④の中から一つ選びなさい。

26

第21条

- ・集会，結社及び言論，出版その他一切の表現の自由は，これを保障する。
- ・[a] は，これをしてはならない。通信の秘密は，これを侵してはならない。

- ① 公権力が私有財産を侵すこと
- ② 公権力が奴隸的な拘束や苦役に服せしめること
- ③ 公権力が出版物などを審査して，不適當とみなした場合は発行等を禁止すること
- ④ 公権力が公益事業のために，私人の土地等の財産権を強制的に取得すること

問20 次の文章を読み、下の問い(1)～(3)に答えなさい。

社会がどのように構成されているかにより政治の仕組みも異なってくる。社会が単一の言語集団や宗教集団から構成される場合によく採用されているのが、1多数決に基づく選挙制度である。逆に、社会が異なる言語集団や宗教集団によって構成されている場合には、aがふさわしいと言われている。しかし、言語集団や宗教集団の対立が激しくなると、さらに 2集団ごとの自治を認める仕組みが必要になる。

- (1) 下線部1の「多数決に基づく選挙制度」としてよく採用されるものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 **27**

- ① 承認投票制 ② 政党名簿式選挙制
③ 比例代表制 ④ 小選挙区制

- (2) 空欄 a に当てはまる語として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 **28**

- ① 小選挙区制 ② 比例代表制
③ 連記（複数）投票制 ④ 中選挙区制

- (3) 下線部2の「集団ごとの自治を認める仕組み」の具体例として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 **29**

- ① 身分議会制 ② 合議制
③ 連邦制 ④ 少数派の分離独立

問21 次の文章を読み、下の問い(1)、(2)に答えなさい。

現代社会の重要な問題の一つに、環境問題がある。たとえば、酸性雨やオゾンホールの拡大などがそうだが、これらは国境を越える問題であり、国際的な対応が必要である。

国連 (UN) は、1992 年にブラジルのリオ・デ・ジャネイロ (Rio de Janeiro) で「地球サミット」-UNCED (国連環境開発会議)-を開催した。また、1997年には「A 議定書」で、二酸化炭素 (CO₂) などの温室効果ガスの排出に制限を設ける取り決めがなされた。

- (1) 下線部に関連して、この原因となる物質として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

30

- ① フロン(CFC) ② 石油
- ③ プルトニウム (Pu) ④ ダイオキシン (dioxin)

- (2) 文章中の空欄 A にはある都市の名称が当てはまる。その都市の名称として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

31

- ① 広島
- ② 京都
- ③ ナイロビ (Nairobi)
- ④ モントリオール (Montreal)

問22 民主諸国では権力分立の原則に従って国家機構が整備されている。日本の権力分立の例として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

32

- ① 国会議員は直接選挙によって選ばれる。
- ② 最高裁判所判事は国民審査を受けなければならない。
- ③ 衆参両議院の会議は原則として公開でおこなわれる。
- ④ 裁判所には違憲審査権が与えられている。

問23 次の文中の空欄 [A]、[B] に当てはまる地域名の組み合わせとして正しいものを、
下の①～④の中から一つ選びなさい。

33

アメリカは、アジア太平洋地域に進出し、[A] を併合して、[B] をスペイン (Spain) から獲得した。

| | A | B |
|---|-------|-------|
| ① | ハワイ | フィリピン |
| ② | フィリピン | タヒチ |
| ③ | グアム | ハワイ |
| ④ | ハワイ | タヒチ |

注) ハワイ (Hawaii), タヒチ (Tahiti), グアム (Guam)

問24 次のA～Dは戦後の日本経済についての出来事を述べたものである。その出来事の
順番として正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

34

- A 戦後初の赤字国債が発行された。
- B 池田勇人内閣によって、所得倍増計画が発表された。
- C 資金・資材を石炭・鉄鋼の増産に集中する、傾斜生産方式が閣議決定された。
- D プラザ合意 (Plaza Accord) がなされて、円高が進行した。

- ① B→C→D→A
- ② C→B→A→D
- ③ C→A→B→D
- ④ C→B→D→A

問25 次に述べる発表の内容として最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

35

第一次世界大戦後、世界平和を実現するために、アメリカ大統領ウィルソン（Woodrow Wilson）は、後に「14か条の平和原則」と呼ばれた、国際社会の理想像を発表した。

- ① 自由主義と社会主義の平和的共存を訴えた。
- ② 諸民族の自主的決定のため、各国が孤立主義的政策をとることを求めた。
- ③ 国際的な平和機構の設立が望まれ、国際連盟として実現した。
- ④ 戦争が二度と繰り返されないよう、軍備の完全な放棄が定められた。

注）国際連盟（League of Nations）

総合科目の問題はこれで終わりです。解答欄の 36 ～ 60 は空欄にしてください。

この問題用紙を持ち帰ることはできません。

平成16年度
日本留学試験(第2回)

正 解 表

平成16年度(2004年度)日本留学試験(第2回)試験問題 正解表

〈日本語〉

記述 問題解答例を303ページに掲載

読解

| 解答欄 | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 | 問14 | 問15 | 問16 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 正解 | 3 | 3 | 1 | 1 | 3 | 2 | 4 | 4 | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 | 2 | 1 | 4 |

| 解答欄 | 問17 | 問18 | 問19 | 問20 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 正解 | 1 | 4 | 1 | 2 |

聴解

| 解答欄 | 1番 | 2番 | 3番 | 4番 | 5番 | 6番 | 7番 | 8番 | 9番 | 10番 | 11番 | 12番 | 13番 | 14番 | 15番 | 16番 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 正解 | 2 | 3 | 2 | 4 | 3 | 1 | 2 | 4 | 3 | 4 | 1 | 2 | 4 | 3 | 4 | 4 |

| 解答欄 | 17番 | 18番 | 19番 | 20番 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 正解 | 1 | 2 | 1 | 4 |

聴読解

| 解答欄 | 1番 | 2番 | 3番 | 4番 | 5番 | 6番 | 7番 | 8番 | 9番 | 10番 | 11番 | 12番 | 13番 | 14番 | 15番 | 16番 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 正解 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 4 | 2 | 3 | 4 | 1 | 1 | 3 | 4 | 1 | 3 | 2 |

| 解答欄 | 17番 | 18番 | 19番 | 20番 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 正解 | 3 | 1 | 1 | 4 |

<理 科>

物 理

| 問 | Ⅰ | | | | | Ⅱ | | | Ⅲ | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | A | B | C | D | E | A | B | C | A | B | C |
| 問 | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問1 | 問2 | 問3 | 問1 | 問2 | 問3 |
| 解答欄 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 正解 | 2 | 2 | 3 | 1 | 4 | 3 | 3 | 4 | 2 | 2 | 3 |

| 問 | Ⅳ | | | | | | Ⅴ | |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | A | B | | | C | | A | B |
| 問 | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問1 | 問2 |
| 解答欄 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 正解 | 2 | 4 | 2 | 4 | 3 | 4 | 1 | 2 |

化 学

| 問 | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 | 問14 | 問15 | 問16 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 解答欄 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 正解 | 2 | 5 | 5 | 2 | 5 | 3 | 4 | 1 | 4 | 4 | 2 | 2 | 3 | 6 | 3 | 4 |

| 問 | 問17 | 問18 | 問19 | 問20 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 解答欄 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 正解 | 3 | 1 | 5 | 6 |

生 物

| 問 | 問1 | 問2 | | 問3 | | 問4 | | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
|-----|----|----|---|----|---|----|---|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 解答欄 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 正解 | 2 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 6 | 3 | 4 | 6 | 2 | 1 | 4 | 3 | 4 | 3 |

| 問 | 問14 | |
|-----|-----|----|
| 解答欄 | 17 | 18 |
| 正解 | 1 | 3 |

〈総合科目〉

| 問 | 問 1 | | | | 問 2 | | | | 問 3 | | 問 4 | 問 5 | 問 6 | 問 7 | 問 8 | 問 9 |
|-----|-----|---|---|---|-----|---|---|---|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 解答欄 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 正解 | 4 | 2 | 3 | 2 | 1 | 3 | 1 | 4 | 2 | 1 | 3 | 2 | 4 | 1 | 4 | 4 |

| 問 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 | 問14 | 問15 | 問16 | 問17 | 問18 | 問19 | 問20 | | | 問21 | | 問22 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|----|-----|
| 解答欄 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 |
| 正解 | 2 | 3 | 1 | 2 | 4 | 3 | 1 | 1 | 3 | 3 | 4 | 2 | 3 | 1 | 2 | 4 |

| 問 | 問23 | 問24 | 問25 |
|-----|-----|-----|-----|
| 解答欄 | 33 | 34 | 35 |
| 正解 | 1 | 2 | 3 |

〈数 学〉

コース 1

| 問 | I | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 問 1 | | | 問 2 | | | | 問 3 | |
| | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) | (3) | (4) | (1) | (2) |
| 解答欄 | A | B | C | D | E | F | G | H | I |
| 正解 | 2 | 2 | 5 | 1 | 1 | 2 | 0 | 5 | 3 |

| 問 | Ⅱ | | | | | | | | | Ⅲ | | | |
|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|---|
| | 問 1 | | | | 問 2 | | 問 3 | | | 問 1 | | | |
| | (1) | | (2) | | (1) | (2) | | | | (1) | | (2) | |
| 解答欄 | A | BC | DE | FGH | JK | LMN | OP | QRST | UVW | ABC | DEF | GH | I |
| 正解 | 2 | 42 | 31 | 323 | 144 | 432 | 45 | 1233 | 533 | -16 | -12 | 13 | 1 |

| 問 | III | | | | IV | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 問 2 | | | | 問 1 | | | | 問 2 | | | |
| | (1) | (2) | (3) | (4) | (1) | (2) | (3) | (4) | (1) | (2) | (3) | (4) |
| 解答欄 | J | KL | M | NO | A | BCD | EF | GH | IJK | LM | N | |
| 正解 | 8 | 12 | 4 | 32 | 3 | -18 | 54 | 14 | 374 | 96 | 8 | |

コース 2

| 問 | I | | | | | | | II | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|
| | 問 1 | | 問 2 | | | 問 3 | | 問 1 | | | | 問 2 | | 問 3 | |
| | (1) | (2) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) | (1) | (2) | (1) | (2) | (1) | (2) | (1) | (2) |
| 解答欄 | A | B | C | D | E | F | G | A | BC | DE | FGH | IJK | LMNO | PQR | ST |
| 正解 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 5 | 3 | 2 | 42 | 31 | 323 | 554 | 2554 | -34 | 15 |

| 問 | III | | | | | | | IV | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|
| | 問 1 | | | 問 2 | | | | 問 1 | | | | 問 2 | | | |
| | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) | (3) | (4) | (1) | (2) | (3) | (4) | (1) | (2) | (3) | (4) |
| 解答欄 | ABC | DEF | GH | I | JKL | MNOP | Q | RS | A | BC | DEFGH | IJ | K | L | MN |
| 正解 | -16 | -12 | 13 | 1 | -52 | 1517 | 4 | -4 | 1 | 56 | 56312 | 12 | 2 | 2 | 21 |

「記述」採点基準

「記述」の採点に当たっては、文法的能力及び論理的能力のそれぞれについて、以下の基準に基づき採点し、その合計点（0～6点）を表示する。

（1）文法的能力（0～3点）

- 個々の文についても、文章全体についても、執筆者の意図が明快に理解可能であるもの（文法・表記上の軽微な誤りや文体上やや不自然な点は許容する。）……………3点
- 文法・表記上明らかに適切でない点を含むが、文章全体から執筆者の意図は明快に理解可能であるもの……………2点
- 文法・表記上明らかに適切でない点がかかなり目立つが、文章全体から執筆者の意図を想像することは可能であるもの……………1点
- 意味不明の文が多く、文章全体から執筆者の意図を理解することが不可能又は極めて困難なもの……………0点

（2）論理的能力（0～3点）

- 主張に根拠が示されており、かつ、主張と根拠との間に十分な論理的関係があり、矛盾が認められないもの……………3点
- 主張に根拠が示されており、概ね論理的な関係が認められるが、一部に論理的矛盾や非整合性も存在するもの……………2点
- 主張は示されているが、その根拠が示されていない、又は、根拠が示されていても、論理性・客観性を著しく欠いているもの……………1点
- 筆者自身の主張が示されていない、又は、何を主張したか曖昧であるもの……………0点

「記述」問題解答例

①

両者の考えを比較すると、一見前者の方に魅力が感じられる。渋滞を減らすために車を減らす、という考えはシンプルで分かりやすいし、費用の面でも道を増やすことより安上がりであろうからだ。車の代わりとしては、公共の交通機関を利用するようにすればよい。

しかし、公共の交通機関がすでに高度に発達している大都会においても、車の利用は一向に減ることがない。それは、車には他の交通手段には替えられない利便性がある、ということではないだろうか。すなわち、「出発地から目的地まで、人や物資を直接運べる」という利便性である。こうした「自由な移動」に対する社会的ニーズは、現代の都市生活においては非常に大きいと思う。

渋滞を減らす、ということは、人と物資がより円滑に流通することを目指す、ということであろう。その目的のため、「自由な移動」の手段である車を規制することは矛盾である。渋滞の解消は、車を減らすこと以外の方法でおこなうべきだと私は考える。
(409字)

②

以前に比べると、大学を卒業しても定職につかない若者が多くなったそう。また、最近では、働くことも、学ぶこともしようとしないう若者も増えているという。この現象の背景には、人生の目標を持たずに長期間を過ごすことがあると思う。

人は常に目標を持って生きる方がよいと思う。大学入学前の高校生は、将来どのような方面に進みたいか、そのためにはどこで勉強すればよいか、留学した方がよいかなど、自分の将来設計が十分にできる年齢である。目標が決まっていれば、大学入学後も学ぶべきことが明確であるし、時間も効率的に使える。それに、将来に向かって一步一步前進していると思うと毎日が楽しいだろう。

入学前に目標を持っているか否かが、大学4年間を有意義に送れるかどうかを決めると言っても過言ではない。もし、大学入学後、入学前に考えた将来像とは違うことに気付けば、その時点で方向転換すればよいのだ。人間は常に目標を持って、それに向かって前進するというのが、私の考えだ。(416字)